

平成29年度第2回碧南市学校給食センター運営審議会 会議録

1 日時

平成30年2月6日（火）午後1時30分～午後2時30分まで

2 場所

碧南市学校給食センター 会議室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者

生田讓、松井育生、小林昭彦、苅谷賢治、亀蔦順子、大河内隆男、角谷光照、杉浦嘉信、杉浦真由美、長谷川和美、小島真由子、生田弓恵

(2) 欠席者

深津邦江、北村恒、岩井伸江

(3) 事務局職員

教育長 生田弘幸、教育部長 奥谷直人、庶務課長 石川素子、
学校給食センター所長 縣勝洋、主事 森田裕希子、
学校給食センター栄養教諭 加藤博子、早川直美、神谷悦子、
学校給食センター栄養職員 都築はるか

4 傍聴者

なし

5 議題

(1) 協議事項

- ア 平成30年度学校給食実施計画（案）について
- イ 平成30年度・31年度学校給食用物資納入指定業者について

(2) 報告事項

- ア 平成29年度学校給食実施状況について

6 議事の要旨

(1) 協議事項

- ア 平成30年度学校給食実施計画（案）について
事務局が会議資料に基づき、学校給食実施計画（案）について説明した。
意見・質疑等は特になし。承認された。
- イ 平成30年度・31年度学校給食用物資納入指定業者について

事務局が会議資料に基づき、給食用物資納入指定業者について説明した。
意見・質疑は特になし。承認された。

(2) 報告事項

ア 平成29年度学校給食実施状況について

事務局が会議資料に基づき、実施状況について説明した。
意見・質疑の後、了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】白しょうゆは、学校等でも出前授業を行っているが、同じ醸造のみりんについても積極的に行っていたらと思う。

【B委員】食物繊維が不足とあるが、何が足りないのか。何を摂取したらよいか。

【事務局】野菜が一番です。給食でも毎日野菜を使っているが、残菜が多いのが現状。子ども達に食べてもらいたいので、メニューを変えたり味を変えたりしている。愛知県は野菜の摂取量が全国で最下位。家庭でもできることをしてほしい。

【C委員】残菜がなければ基準値を超えているのか。

【事務局】そうです。

【D委員】給食の栄養摂取の設定は何%なのか。基準値か、それ以上か。

【事務局】基準値を設定している。カルシウムや鉄は不足しがちな栄養素である。

【E委員】野菜の残菜が多いだけなのか。他のものはどうか。食材によって人気のばらつきがあるのか。

【事務局】子どもは「魚より肉」の傾向がある。食べやすいように焼いたり、蒸したりと色々な調理法で提供している。また、さんまなど骨付きのまま提供することもある。加熱加工してあり、骨ごと食べられるものであればカルシウムも摂取できるため。

【F委員】家庭での食事指導は行っているのか。残菜を減らすことにも繋がるし、魚の食べ方など家庭によって食べ方はバラバラであると思うが。

【事務局】現在、料理教室は行っていない。学校給食だけでなく、もう一步踏み込んだ指導をしたいが、難しい面もある。子どもを通して家庭に働きかけられている。

【F委員】碧南市は魚が美味しいところなので、浸透していくとよいと思う。